

【こころの健康増進センター】

【訪問日 11月 9日】

区 分	評価項目	チームの意見・指摘など	改善(対応)の状況など
1 職場の印象	① あいさつや言葉づかい、 笑顔など職員の印象はいかがですか	良かったと思う。専門用語に若干不明なこと、一部質疑の応答が聞き取りにくいところもあったので、意見交換の際に指摘した。その後、その場で説明があったので理解できる範囲になった。	御指摘を真摯に受け止めまして、職場内での研修を行うとともに、常に市民の皆様の視点に立ち、わかりやすい説明が行えるよう、職員一人ひとり心掛けます。
	② 職場の雰囲気はいかがですか	整理整頓はなされていたと思う。室内の広さはまあまあ動きやすくなっていたと思われるが、電話相談室は狭そうだったので、意見交換の際に指摘したところ、連絡連携をとりやすくするために仕方がない様子であったが、もう少しだけ快適さがほしい気がした。	御指摘を踏まえ、今後も、職員が快適に働けるようにするため、関係書類の収納を工夫するなど、室内スペースを有効に活用し、働きやすい職場環境作りを目指します。
	③ 職場内の掲示物や整理整頓の状態などはいかがですか	良好。多数の人が出入りするのに邪魔にならない程度の整理はなされていた気がする。	今後とも、職場内の整理整頓に努めます。

区分	評価項目	チームの意見・指摘など	改善(対応)の状況など
2 仕事の進め方	④ 会議やミーティングなどを行い、職員間での情報の伝達やコミュニケーションが図られていますか	研修やセンター内の連絡会を実施されたりしているのですが、情報交換はしっかりされていると思われる。	引き続き、職員間の情報の伝達及びコミュニケーションの充実に努めます。
	⑤ 職場の業務改善について、目標を立てて職員全員で取り組まれていますか	恒常残業を減らす努力と検討を継続的にしていただきたい。業務量の減少は課題。残業を減らすための合理化も視野に入れられたい。	職員の恒常的な残業を減らすため、業務内容や事務分担の見直しなどを検討し、業務量の減少及び業務の合理化に努めます。
3 その他	⑥ 今回訪問した職場の業務内容について、どのようなイメージをお持ちになりましたか	相談電話の回線が1回線しかなく、内容が長時間になるのならもう少し増やしてもよいのではないかと思われたので、意見交換の際に指摘したところ、人員体制に限りがあるので、難しいのかもしれない。一般の回線ででも対応されているので、少しは解消されているのではないかと。	市民の皆様からの相談につきましては、相談電話でお受けするだけでなく、引き続き、状況に応じて柔軟に対応をします。
	⑦ 「京都市こころの健康増進センター」という名称から受ける施設の印象はどうですか	もう少し幅広く相談を受けているイメージがあったが、デイ・ケアは病気が限られているし、相談についても曜日や時間の制限が多い気がするので、意見交換の際に指摘したところ、地域の診療所や医院との連絡をとって進めている様子なのでもっと充実させてください。	御指摘を踏まえ、今後も、地域の医療機関や相談機関等との連携を深めながら、相談支援の充実に努めます。

区 分	評価項目	チームの意見・指摘など	改善(対応)の状況など
4	良い点, 頑張っていると感じた点をお書きください。	企業や大学等とも連携をとって, 研修等も開かれているので, もっと知る機会を得たい。 年々増加する精神疾患の方をより良くするために今後がんばってほしい。	研修会や講演会等の開催につきましては, 御指摘を踏まえ, より多くの市民の皆様に参加していただくため, 市民しんぶんやホームページへの掲載など, 様々な広報媒体を通じて積極的に周知していきます。
5	課題であると感じた点をお書きください。	個々の障害をもつ人のニーズの掘りおこしと, 継続的ケアや社会参加の支援, 社会の偏見の解消, 病気に対する理解の周知が課題である。	市民の皆様へ, 精神疾患及び精神障害に対する理解を深めていただき, 社会の偏見を解消していくため, 講演会や研修会等の普及啓発活動をより一層進めるとともに, 個々の相談内容に応じて, 確実に医療機関や支援機関等に繋ぐなど, 切れ目のない継続した支援と社会参加に努めます。
6	改善等の御提案や, その他御意見等がありましたら, お書きください。	精神疾患の方の増加や自殺者の増加等, 課題は尽きないが, 社会の受け入れが狭き門となっている現状を, もっと門戸を開いてもらえる努力は並大抵ではないと思います。 行政・民間の区別なく, 社会の理解の広がりを持てるようがんばって広げてほしい。 もっと人員の増員等も考えられるとよいのではないのでしょうか。	社会の門戸を大きく開き, 家庭, 学校, 職場, 民間団体等と連携した地域社会全体での取組として進めていけるようにするため, シンポジウムの開催や市バス・地下鉄への広告, 市立図書館での関連図書の貸し出しなど, 強力に普及啓発活動を推進するとともに, 地域や関係機関等とも協力して, 相談支援体制の充実に努めます。